



グラウンドに華開らく婦人の民謡踊り。

第六回市民体育大会は、好天に恵まれた八月二十一日留萌小グラウンドに、藤山町の初参加を入れて二十二チームが参加、レクリエーション、対抗競技に、楽しい一日を過ごしました。この結果、幸町チームが初優勝、真紅の優勝旗などが贈られました。なお、この大会でのスナップ写真を、ここにのせました。

楽しかった市民体育大会



ベニヤ板を背負っての帆かけリレー



真剣な顔で運命の札をひろう女子選手

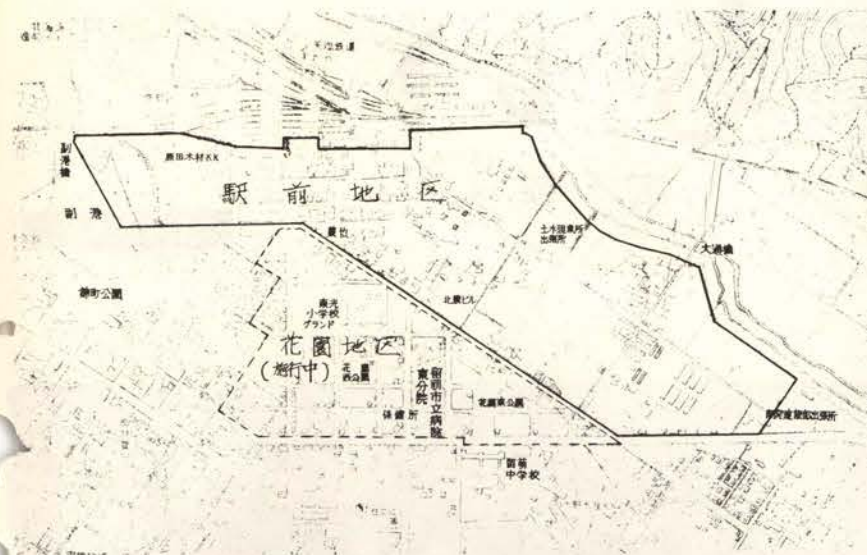


町内の声援を受けてバトンを渡すミックス、リレー



タイヤ転ろがしなど近代五種(?)の五目リレー

会場せまじと集まった坊ちゃん嬢ちゃんにキヤラメつかない、たよらない足元の賞品が……
各選手とも汗をかいてムカデ競争



市では、昭和四十二年度から、駅前を中心とした区画整理事業を五カ年計画で行うことを計画してあります。市の新しい街づくりの事業としては、すでに中部地区、元町地区、それに現在進められている花園地区が

ありますが、こんどの事業は、留萌駅を持つ栄町はもろろんのこと末広町、高砂町、五十嵐町にまたがる総面積約五十二haを事業費総額約八億八千万円を見込み留萌駅舎の改築とともに、表玄関にふさわしい整然とした美しい市街地にしようというものです。

この事業の主なもの、留萌市の玄関口である駅前広場(約三万平米)が造成されます。

また、都市計画街路として、市員四十五号をはじめ二十二号、十八号というような巾の広い道路ができ、歩車道も区分され、主要街路は舗装されます。

さらに、この街路にあわせて、網の目のように八号六号市の区画街路が造成され、それぞれ道路の両側にコンクリートの側溝を設け、道路や排水溝が整備されます。

また、地区間には、周囲を樹木にかこまれた子供たちの遊び場としての小公園が、数カ所造成され、ブランコ、シーソーなどの遊戯施設が完備されます。

こうした事業は、土地区画整理法などによって行われますが、区画整理というのは、道路や公園の公共用地にあつた特定の人だけに犠牲を、おしつけるので

はなく、その道路や公園を造ったりすることによって受ける、利益の度合いに応じて、その地区に住んでいる人たちが公平に負担して自分たちの住んでいる街をよくするという合理的な方法です。

このように、区画整理は地区全体を考え、道路や公園をつくったり、改良したり、また換地をきめてゆく仕事ですから、全部が関連を持っていくわけです。

したがって、事業の進み方が遅れると遅れるほど、地区間の皆さんにご迷惑をかけることとなります。

市としては、この新しい街づくり事業が一日も早く完成するよう努力をしていますが、皆さんもこの事業の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

なお、この土地区画整理事業が、どんな方法で行われるのか、一般によく知られていないために、いろいろと誤解や心配をされる方も多いと思いますので、この事業のあらましを理解していただくために、十月中旬に説明会を現地で開催しています。

とくに、この地区間に土地や建物をお持ちの方は、ぜひお集りください。



〈留萌文化賞〉の受賞候補者の推せんを

〈留萌市文化賞〉の受賞候補者の推せんを、9月30日まで受けつけています。

これは、文化賞と文化奨励賞とに別けられ、科学、芸術、教育を通じて、留萌地方文化の向上につくし、その功績が認められた人に贈られています。

市教委は、これにともない、受賞候補者の推せんを受けています。受賞の候補者は、個人、団体いづれでもよいが、ことしの9月30日までに、市内に5年以上居住したとか、5年以上事業団体をおいた団体となっています。

推せん用の紙は、市教委にありますので、あなたの回りに、この文化賞を贈るにふさわしい方がお

- りましたら、どしどしご推せんをお願いいたします。なお、受賞者は、推せんを受けた後、審議委員会の答申により教育委員会が、決定します。
- /これまで授賞した方(敬称略)
- 28年 たて沼ナヲ(文化賞)
 - 田辺徳治(文化奨励賞)
 - 29年 田中進一()
 - 留萌朗読研究会()
 - 30年 原田武夫()
 - 32年 伊佐津和平(文化賞)
 - 高木静山(文化奨励賞)
 - 33年 高橋潭水()
 - 34年 佐藤作太郎()
 - 36年 東光小鼓笛隊()
 - 37年 留萌小器楽演奏()
 - 留萌ペンクラブ()
 - 40年 関四郎()